

豊中市  
埋蔵文化財年報



THE ANNUAL REPORT '93

SECTION OF CULTURAL HERITAGE MANAGEMENT, TOYONAKA CITY

VOL. 3  
March, 1995

豊中市  
埋蔵文化財年報  
VOL. 3

豊中市教育委員会

平成7年(1995年)3月

※表紙の写真は、大石塚古墳第4次調査1号埋葬施設  
※裏表紙のイラストは、野畠出土巫女埴輪(新市指定文化財)

## はじめに

豊中市は大阪平野の北西部に位置し、猪名川の流れと千里丘陵の縁という豊かな自然環境に包まれた地です。この恵まれた豊中の地には、古来より人々の生活が営まれてきました。その痕跡は、現在遺跡として私達の前に残っています。

近年の開発にはめざましいものがありますが、その影には貴重な文化財であるこうした遺跡が破壊されていることも忘れてはなりません。豊中市では、失われつつある遺跡を文化財資料として活用、保存するべく努力してまいりました。本来ならば、調査成果は発掘調査報告書として詳細にまとめられるべきところですが、報告書の作成には多くの時間と労力が必要とされます。そこで、少しでも調査成果を公表し活用していただくべく、本書を発行するものです。本書が、文化財保護と文化財理解の一助となれば幸いです。

平成7年(1995年)3月

豊中市教育委員会

教育長 肯木伊織

## 例　　言

1. 本書は平成5年度(1993年度)の埋蔵文化財に関する事業と調査成果の概要を報告するものである。
2. 発掘調査のうち、国庫補助事業については、豊中市教育委員会が主体となって行った。また、受益者負担の発掘調査に関しては、それぞれ調査ごとに調査団を編成し、これに豊中市教育委員会職員が派出して調査を行った。調査団の団長には亥野 勝氏(神戸国際大学非常勤講師・日本考古学協会会員)にお願いした。
3. 本書の執筆は、第Ⅱ章の「平成5年度(1993年度)発掘調査の概要」はそれぞれの調査担当者が担当し、それ以外は清家 章が行った。編集は清家が担当した。なお、製図には川島勝子、編集には木村 淳と二村多喜子からそれぞれ援助を得た。
4. 発掘調査を行うにあたり、土地所有者、施工業者ならびに近隣の皆様からは御協力と御理解を賜わりました。深く感謝いたします。
5. 本書の製作にあたり、(財)大阪文化財センター合田幸美氏より御協力をいただきました。記して深く感謝します。
6. 第Ⅰ章「市内の遺跡と試掘調査」中の遺跡分布図の縮尺は50000分の1である。
7. 第Ⅰ章「市内の遺跡と試掘調査」中の調査地点位置図(部分図)の縮尺は100000分の11である。

## 目　　次

|     |                      |    |
|-----|----------------------|----|
| I   | 市内の遺跡と試掘調査           | 1  |
| II  | 平成5年度(1993年度)発掘調査の概要 | 29 |
| III | 普及・啓発事業と刊行物          | 51 |
| IV  | クローズアップ'93           | 55 |